

健康のためには地道な努力が必要です。

健康局総務課長補佐

込山 愛郎

健康局はその名のとおり、国民の皆さんができる限り「健康」な生活を送っていただくために、様々な施策に取り組んでいる部局です。「健康」で充実した生活は、国民にとって最も基本的なニーズであり、これに応えていくことは政府の重要な役割です。

もちろん、「健康」に関わる部局は厚生労働省のなかでも、様々な部局があります。このうち、健康局は、「公衆衛生の向上」や「健康増進」を通じて、「健康」を脅かすリスクを軽減するための取り組みを進めています。

最近では、主に次のような課題について、自治体や保健所等と連携して取り組んでいます。



●筆者一番左

(1) 感染症などから国民を守る取り組み

感染症は、古くより、大きな脅威でしたが、医学の進歩、抗生物質やワクチンなどの開発、衛生環境の改善等によ

って、我が国では多くの感染症が克服されました。しかし他方で、耐性菌(注)や、再興感染症などの問題も起きています。また、テロや事故などによる人為的な感染が起こる可能性もあります。さらに、世界的に見れば、新種の感染症が次々と現れています。感染症との戦いは依然として続いているのです。

近年、鳥インフルエンザが継続的に発生し、一部の国では鳥から人に感染し、死亡事例も多く起きています。鳥インフルエンザが変異し、人から人に感染する新たな「新型インフルエンザ」が発生する危険性も高まっています。ひとたび発生した場合、世界的な流行となるおそれもあります。厚生労働省をはじめ、政府が一丸となって、まだ見えない敵に対し、できる限りの対策を講じなければなりません。

(注) 以前は効いた抗生物質が効かなくなった菌などのこと。



●「平成19年2月5日に実施された、新型インフルエンザ対応総合訓練の様子(平成19年2月6日徳島新聞より)」

(2) 健康づくり等に向けた取り組み

がん、心疾患、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は、我が国の死亡者数の約6割を占めるなど、重大な疾患となっています。生活習慣を見直すきっかけとなる支援を行い、「健康」を脅かすリスクを軽減することは、健康で充実した生活を送るためにも大切だと思います。

最近では、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)という新しい概念が生まれています。過食や運動不足などの生活習慣が内臓脂肪型肥満につながり、糖尿病、高血圧症、高脂血症といった様々な危険因子を引き起こすといわれています。内臓脂肪そのものも含め、危険因子が複合的に働くことにより、動脈硬化性の疾患などが発症することが分かってきました。逆に言えば、運動や食生活の見直しによって、内臓脂肪型肥満という根本的な原因を改善することで、発症リスクを

軽減させることができるわけです。内臓脂肪型肥満は比較的分かりやすい指標で把握することができますので、効果的な保健指導を重点的に行うことができます。平成20年度からは、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した、新たな健診や保健指導を導入することとなり、成果が期待されます。

(3) 様々な疾病対策や臓器移植対策

「健康」を脅かすリスクに立ち向かうためには、様々な疾病に対し、効果的な対策を講じることも必要です。例えば、がん対策があります。今や、男性の2人に1人、女性の3人に1人ががんになる状況にあり、総合的な対策が必要です。特に、がん対策においては、①予防・早期発見、②どの地域においても適切ながん医療を受けられる体制づくり、③患者さんにとって必要な情報の収集・提供体制づくり、④在宅医

療や緩和ケアの充実、⑤医薬品・医療技術の研究開発の推進など、多様な課題を解決する必要があります。いわば、がん医療の在り方は、医療全体の課題を集約しているともいえます。

また、世の中には、原因が不明で、まだ効果的な治療法が確立していない数多くの難病があります。原因の究明や治療法の開発が進んでおらず、患者さんやご家族は大変なご苦勞を抱えています。できる限り、疾病の研究等を進めていく必要があります。

さらに、臓器移植が必要な患者さんのため、広く国民の理解を得ながら、適正な臓器移植の普及を図ることも必要です。

(4) 衛生的な生活環境の確保や水道の整備

衛生的な生活環境や水道は、国民が健康に生活するための不可欠な基盤です。また、公衆衛生の向上のため、生活衛生に関わる事業が適正に運営されなければなりません。公衆衛生の基盤となるインフラを確保し、適切な衛生レベルを維持するための取り組みを進めています。

このように、人々が健やかに生活するための基盤づくりをする健康局の仕事は、いつの時代も社会の基礎となるものです。非常に誇りのある仕事といえると思います。



武見・石田両副大臣も、「メタボ退治」に取り組んでいらっしゃいます。詳しくは、厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/metabo/index.html>をご覧ください。